

2024年1月30日

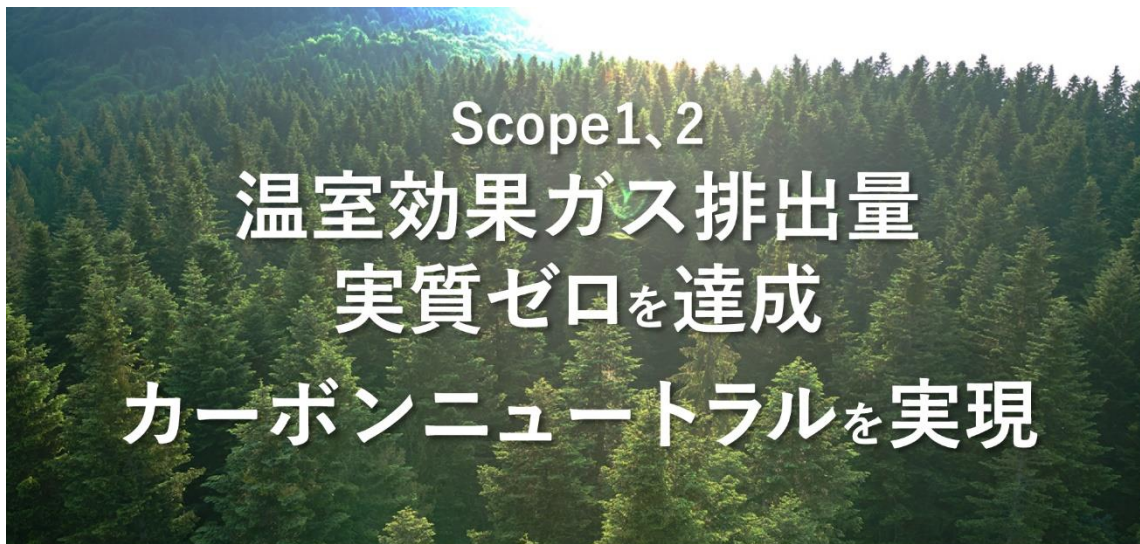
報道関係各位

GMO ペイメントゲートウェイ株式会社

**Scope1、2 の温室効果ガス排出量実質ゼロを達成し、  
カーボンニュートラルを実現  
～GHG 排出量検証機関より第三者保証を取得～**

GMO インターネットグループにおいて総合的な決済関連サービス及び金融関連サービスを展開する GMO ペイメントゲートウェイ株式会社（東証プライム市場：証券コード 3769、代表取締役社長：相浦 一成）は、2023 年 9 月期連結ベースで Scope1、2 の温室効果ガス（以下、GHG）排出量実質ゼロ<sup>（※1）</sup>を達成しました。これに対し 2024 年 1 月 24 日（水）に GHG 排出量検証機関であるソコテック・サーティフィケーション・ジャパン株式会社（以下、SOCOTEC）より第三者保証を取得しました。

（※1）Scope1（企業が自ら排出する GHG 排出量）：該当なし、Scope2（購入した電力・熱等の間接的な GHG 排出量）0 トン CO2（マーケット基準）



GMO PAYMENT GATEWAY

**【背景と概要】**

当社および連結会社（以下、当社）は持続可能な社会の実現に貢献すべく、GHG 排出量の削減に向けた取り組みを推進しています。2022 年 9 月期に事業における電力の大半を消費する主要データセンターの電力に実質再生可能エネルギー<sup>（※2）</sup>を導入しました。その後、他のデータセンターやオフィスへの導入も進め、2023 年 9 月期連結ベースで自社オペレーションの GHG 排出量（Scope1、2）を実質ゼロとする目標を達成し、カーボンニュートラルを実現しました。年間約 15 兆円<sup>（※3）</sup>分の決済処理を、Scope1、2 の排出量を実質ゼロのもとで行っており、当社の決済サービスをご利用いただく加盟店の皆様の GHG 排出量削減へ貢献しております。なお、GHG 排出量の信頼性確保のため、2024 年 1 月 24 日（水）に検証機関である SOCOTEC による第三者保証を取得しております<sup>（※4）</sup>。

サプライチェーン由来の GHG 排出量（Scope3）<sup>（※5）</sup>については、2030 年 9 月期までに、対面決済の提供に必要となる決済端末の新規稼働台数 1 台当たりの Scope3 排出量を 2021 年 9 月期比で 55%削減する目標を設定しました。目標の達成に向けて、その大半を占める決済端末製品の購入ならびに使用に係る GHG 排出量（カテゴリ 1、11）、及びソフトウェア開発に係る GHG 排出量（カテゴリ 2）の削減に向けたサプライチェーンエンゲージメントに取り組んでおり、取引先の決済端末製造メーカーやシステム開発会社と、GHG

排出量の適切な測定・削減に向けた対話を実施しています。

当社は環境負荷の低いキャッシュレス決済<sup>(※6)</sup>を推進するとともに、当社と同様に環境負荷の低いオンラインビジネスや FinTech サービスを提供する国内外の事業者の成長に資するサービスの提供を通じて、お客様及び社会の環境負荷軽減に取り組み、脱炭素社会への転換、持続可能な社会の実現を目指してまいります。

(※2) 使用する電力に FIT 非化石証書 (トラッキング付き) および再エネ指定の非 FIT 非化石証書 (電源属性情報有り) を組み合わせた電力

(※3) 2023 年 9 月末現在、連結数値

(※4) 2022 年 9 月期及び 2023 年 9 月期の Scope1、2、2022 年 9 月期の Scope3 に対し保証を取得済。2023 年 9 月期の Scope3 は算定・検証中

(※5) 当社の Scope3 (当社の活動に関連するサプライチェーンに由来する間接的 GHG 排出量) はカテゴリ 1 (購入した製品・サービス)、カテゴリ 2 (資本財)、カテゴリ 11 (販売した製品の使用)、その他で構成

(※6) 2023 年 8 月に一般社団法人キャッシュレス推進協議会より公表された分析では、現金決済に比してキャッシュレス決済の二酸化炭素排出量は約 3 分の 1 という試算結果が出ております。

<https://paymentsjapan.or.jp/wp-content/uploads/2023/08/roadmap2023.pdf>

## 【GMO ペイメントゲートウェイ株式会社について】

オンライン化・キャッシュレス化・DXなどを支援する決済を起点としたサービスを提供しています。年間決済処理金額は約 15 兆円、オンライン総合決済サービスは EC 事業者や NHK・国税庁等の公的機関など約 15 万店舗の加盟店に導入されています。

決済業界のリーディングカンパニーとして、オンライン総合決済サービス、対面領域での決済サービス、後払い・BNPL (Buy Now Pay Later)、金融機関・事業会社への BaaS 支援、海外の先端 FinTech 企業への戦略的投融資など、決済・金融技術で社会イノベーションを牽引し、持続可能な社会の実現と社会の進歩発展に貢献してまいります。(2023 年 9 月末現在、連結数値)

以上

### 【報道関係お問い合わせ先】

●GMO ペイメントゲートウェイ株式会社  
企業価値創造戦略 統括本部 広報・UX 部  
TEL : 03-3464-0182  
お問い合わせフォーム :  
<https://contact.gmo-pg.com/m?f=767>

●GMO インターネットグループ株式会社  
グループコミュニケーション部 広報担当 山崎  
TEL : 03-5456-2695  
URL : <https://www.gmo.jp/contact/press-inquiries/>

### 【GMO ペイメントゲートウェイ株式会社】(URL : <https://www.gmo-pg.com/> )

会 社 名	GMO ペイメントゲートウェイ株式会社 (東証プライム市場 証券コード : 3769)
所 在 地	東京都渋谷区道玄坂 1 丁目 2 番 3 号 渋谷フクラス
代 表 者	代表取締役社長 相浦 一成
事 業 内 容	■総合的な決済関連サービス及び金融関連サービス
資 本 金	133 億 23 百万円

### 【GMO インターネットグループ株式会社】(URL : <https://www.gmo.jp/> )

会 社 名	GMO インターネットグループ株式会社 (東証プライム市場 証券コード : 9449)
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役グループ代表 熊谷 正寿
事 業 内 容	■インターネットインフラ事業                      ■インターネット広告・メディア事業 ■インターネット金融事業                      ■暗号資産事業
資 本 金	50 億円

Copyright (C) 2024 GMO Payment Gateway, Inc. All Rights Reserved.